

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	必修
担当教員			
泉谷 泰行			
水1、木4			
添付ファイル			

科目の概要	<p>昨今、医学の進歩により医療現場は高度化し、また高齢社会など社会環境の変化に伴い患者の病態は複雑化している。このような状況の中、看護師はチーム医療の主力として患者に対して常に直接接し、医師と共に医療現場の両輪となって診断および治療を行わなければならない。患者に対して質の高い医療を提供するためには、疾患に関する正確な知識をもとに、目の前の患者の病態を正しく理解することが必要不可欠である。そこでまず、医学・医療を志す学生が最初に学ぶ学問が解剖学と生理学である。解剖学では健康な人体の形態を、生理学では健康な人体の機能を学習する。解剖生理学 I では、人体の構成の基本単位である「細胞」について学び、骨格系、循環器系、呼吸器系、消化器系について講義する。</p>
授業の内容	<p>第1回 オリエンテーション（授業の進め方、成績評価の説明等）、解剖生理学総論シラバスを事前に読んでおくこと。</p> <p>第2回 細胞の構造と機能①；内部環境、細胞膜について解説する。 教科書または参考書の該当箇所を読み、専門用語の意味を調べておくこと。</p> <p>第3回 細胞の構造と機能②；細胞小器官、核について解説する。 教科書または参考書の該当箇所を読み、専門用語の意味を調べておくこと。</p> <p>第4回 細胞の構造と機能③；DNAの複製、セントラルドグマ、物質の移動について解説する。 教科書または参考書の該当箇所を読み、専門用語の意味を調べておくこと。</p> <p>第5回 骨格系の構造と機能①；骨の概要について解説する。 第1回～4回の講義内容について小テストを行う。 教科書または参考書の該当箇所を読み、専門用語の意味を調べておくこと。</p> <p>第6回 骨格系の構造と機能②；頭蓋骨、体幹の骨について解説する。 教科書または参考書の該当箇所を読み、専門用語の意味を調べておくこと。</p> <p>第7回 骨格系の構造と機能③；上肢の骨について解説する。 教科書または参考書の該当箇所を読み、専門用語の意味を調べておくこと。</p> <p>第8回 骨格系の構造と機能④；下肢の骨、骨盤について解説する。 教科書または参考書の該当箇所を読み、専門用語の意味を調べておくこと。</p> <p>第9回 循環器系の構造と機能①；心臓の構造について解説する。 第6回～8回の講義内容について小テストを行う。 教科書または参考書の該当箇所を読み、専門用語の意味を調べておくこと。</p> <p>第10回 循環器系の構造と機能②；心筋の基本的性質について解説する。 教科書または参考書の該当箇所を読み、専門用語の意味を調べておくこと。</p> <p>第11回 循環器系の構造と機能③；心周期、心音、心電図について解説する。 教科書または参考書の該当箇所を読み、専門用語の意味を調べておくこと。</p> <p>第12回 循環器系の構造と機能④；動脈の走行および名称について解説する。 第9回～第11回の講義内容について小テストを行う。 教科書または参考書の該当箇所を読み、専門用語の意味を調べておくこと。</p> <p>第13回 循環器系の構造と機能⑤；動脈、静脈の走行および名称について解説する。 教科書または参考書の該当箇所を読み、専門用語の意味を調べておくこと。</p> <p>第14回 循環器系の構造と機能⑥；静脈、リンパ管の走行および名称について解説する。 教科書または参考書の該当箇所を読み、専門用語の意味を調べておくこと。</p> <p>第15回 血液の組成と働き①；赤血球について解説する。 第12回～第14回の講義内容について小テストを行う。 教科書または参考書の該当箇所を読み、専門用語の意味を調べておくこと。</p> <p>第16回 血液の組成と働き②；白血球、血小板について解説する。 教科書または参考書の該当箇所を読み、専門用語の意味を調べておくこと。</p> <p>第17回 血液の組成と働き③；血漿、止血作用、線維素溶解について解説する。 教科書または参考書の該当箇所を読み、専門用語の意味を調べておくこと。</p> <p>第18回 血液の組成と働き④；血液型について解説し、血液について復習する。 教科書または参考書の該当箇所を読み、専門用語の意味を調べておくこと。</p> <p>第19回 呼吸器系の構造と機能①；鼻腔、喉頭について解説する。 第15回～第18回の講義内容について小テストを行う。 教科書または参考書の該当箇所を読み、専門用語の意味を調べておくこと。</p> <p>第20回 呼吸器系の構造と機能②；気管、気管支、肺について解説する。 教科書または参考書の該当箇所を読み、専門用語の意味を調べておくこと。</p> <p>第21回 呼吸器系の構造と機能③；呼吸のメカニズムおよび反射について解説する。</p>

	<p>教科書または参考書の該当箇所を読み、専門用語の意味を調べておくこと。</p> <p>第22回 呼吸器系の構造と機能④；ガス交換、ガス運搬、酸塩基平衡について解説する。 教科書または参考書の該当箇所を読み、専門用語の意味を調べておくこと。</p> <p>第23回 消化器系の構造と機能①；消化・吸収の概要について解説する。 第19回～第22回の講義内容について小テストを行う。 教科書または参考書の該当箇所を読み、専門用語の意味を調べておくこと。</p> <p>第24回 消化器系の構造と機能②；口腔、咽頭について解説する。 教科書または参考書の該当箇所を読み、専門用語の意味を調べておくこと。</p> <p>第25回 消化器系の構造と機能③；食道、胃について解説する。 教科書または参考書の該当箇所を読み、専門用語の意味を調べておくこと。</p> <p>第26回 消化器系の構造と機能④；小腸について解説する。 教科書または参考書の該当箇所を読み、専門用語の意味を調べておくこと。</p> <p>第27回 消化器系の構造と機能⑤；肝臓について解説する。 教科書または参考書の該当箇所を読み、専門用語の意味を調べておくこと。</p> <p>第28回 消化器系の構造と機能⑥；胆嚢、膵臓について解説する。 教科書または参考書の該当箇所を読み、専門用語の意味を調べておくこと。</p> <p>第29回 消化器系の構造と機能⑦；大腸について解説する。 教科書または参考書の該当箇所を読み、専門用語の意味を調べておくこと。</p> <p>第30回 まとめ 第23回～第29回の講義内容について小テストを行う。</p> <p>定期試験（第1回～第30回までの内容）</p>
学習到達目標	医療従事者には患者およびその家族に対する病態の説明義務がある。説明することにより患者は安心して医療を受けることができ、またその家族は安心して医療現場に任せることができる。しかし、医学用語の丸暗記では十分な説明は困難であり、結果、治療に様々な支障をきたす。それを防ぐためには、医学用語の単なる丸暗記ではなく、まずは器官系の構造や機能を理解することである。この講義では、理解することを心がけ、第三者に説明できるようになることを目的とする。
授業の方法	<p>【授業形態】講義形式</p> <p>【その他特記事項】講義の復習として動画を配信する。</p>
成績評価の方法	<p>【評価項目】講義ノート、小テスト、定期試験</p> <p>【割合】講義ノート（10%）、小テスト（20%）、定期試験（70%）</p>
教科書・テキスト	系統看護学講座 人体の構造と機能[1]解剖生理学（第10版）、坂井建雄・岡田隆夫、医学書院
参考書	特に指定しない
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	各自、手書きの講義ノートを作成すること。講義ノートは定期的に提出し、採点后に返却する。ワープロは不可とする。
履修上の留意事項	勉学にいそしむ学生の邪魔をする行為（過度な私語など）は禁止する。また板書した内容およびスライドをカメラなどで撮ることおよび講義中の携帯電話・スマートフォンの使用は禁止する。単なる専門用語の丸暗記ではなく、まずは内容を理解することを念頭に置いて下さい。
オフィスアワー	金曜日 4限・5限
課題に対するフィードバックの方法	定期的に行う小テストに関しては、テスト終了後に解説行い、次回の講義にて返却する。講義ノート提出後はチェックし返却する。
実務経験	鍼灸師
その他	特になし